

「デフサッカーを紹介します」

みなさん、デフサッカーをご存知ですか？

デフサッカーとは、聴覚に障がいのある選手 11 名で行うサッカーです。

競技中、選手たちは補聴器を外すことが義務付けられていることから、

「音のないサッカー」の愛称で呼ばれています。

選手同士はアイコンタクトや手話でコミュニケーションを取ります。

基本的なルールは聴者のサッカーのルールと同じですが、

選手は笛の音が聞こえないため、

主審は笛とフラッグ両方で合図します。

国際試合ではさらに両ゴール裏に一人ずつ、合計 5 人の

フラッグを持った審判員がプレーの停止を多方向から伝えます。

興味のある方はこちらへアクセスしてみてくださいはいかがでしょうか？

https://www.jfa.jp/grass_roots/disability/hearing_disability.html

また、デフサッカー日本代表監督であり、聴覚障がい者の

植松隼人氏が始めた共生社会の考え方を

手話で紹介する動画もあります。

こちらもぜひご覧ください。

https://www.youtube.com/channel/UCrc9guThvWdoWj8vJBII_gg